

「また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。」

ヨハネの黙示録 21 章 1 節

黙示録 21 章の幻は黙示録のハイライトとされています。「以前の天と以前の地」とは、古い世界、この現実の世界です。ローマ皇帝の力が世界を支配し、迫害の中で教会は消え去ろうとしていました。迫害の中には

も墮落した状態ではなく、古い世界はやがて消え去り、新しいエルサレムが来ると約束されています。だから今は忍耐してしばらくのあいだ待て、とヨハネは諸教会に告げているのです。

ある信徒たちは「神は何故助けてくれないのか」「私たちの神は無力なのか」と疑問を始めます。目に見える現実にはローマ帝国が力を世を支配し、従わぬ者は殺していく世界です。

私たちはキリストの来臨から二〇〇〇年

以上経た時代に生かされている者として、再臨の主を待ち望む者でありたいと思います。キリストがこの地上においてくださったことにより、人類に対する救いの道が開かれました。そして、キリストが再びお出

でなるその時は、この苦しみの時代が終わり、死も、悲しみも、労苦もなくなる神の全啓示の完成の時なのです。

新しい世界の中心である聖なる都の姿は、いまだかつて誰も見たことはありません。それは人間の求めをはるかに越えた祝福ではないでしょうか。

しかし、都に入れないものがある事に心を留めなければなりません。異教の地に住む私たちは警告としてこの事を意識する必要があります。キリストの来臨が切迫しています。宣教の必要を覚え「私はすぐに来る」と再臨を宣言される主に対して、「アーメン。主イエスよ来てください。」と言える状態でありたいものです。

■定期教会総会（予算）について

総会日 3月7日（日）

形式 議決権行使書の提出による

「議決権行使書」をご返送くださりありがとうございます。3月5日時点で90名ほどの回答をいただきました。報告は次週週報に掲載致します。

■第58 回年次総会（教団）

総会日 3月7日（日） 14時～

形式 オンライン会議

本日午後、インターネットを通じての開催です。蒲田教会代議員は、蒲田礼拝堂に集まって出席します。教団の働きのため、蒲田及び各シオンのためにお祈りください。

〔出席者〕

石田理事長、いっ子牧師、荻野牧師、加藤兄、豊田兄、金川兄、山口光兄

（陪席） 林修養生

■今後の礼拝説教予定

3月14日 マルコ① 荻野牧

21日 マルコ② いっ子牧

28日（パームサンデー）

マルコ③ 石田牧

4月4日（イースター）

マルコ④ 荻野牧

（レント（受難節）） 教会暦ではこの時期はレント（受難節）といって、イースターを前にキリストの十字架と復活を覚える節季です。レントの期間は、当初は変動があったようですが、イエス様が荒野で40日間祈ったことに因み、聖日を除いた40日間とされて現在に至ります。次週14日からイースターまでの4回の聖日では、礼拝説教でマルコの福音書を扱います。主の十字架と復活が私のためであったことを思い起こしながらこの季節を過ごしましょう。

・4月2日（金）受難日

コロナ禍のため今年も受難週祈禱会は行いません。しかし、受難日を覚えて動画をあげる予定です。共に主の十字架に思いを向けましょう。